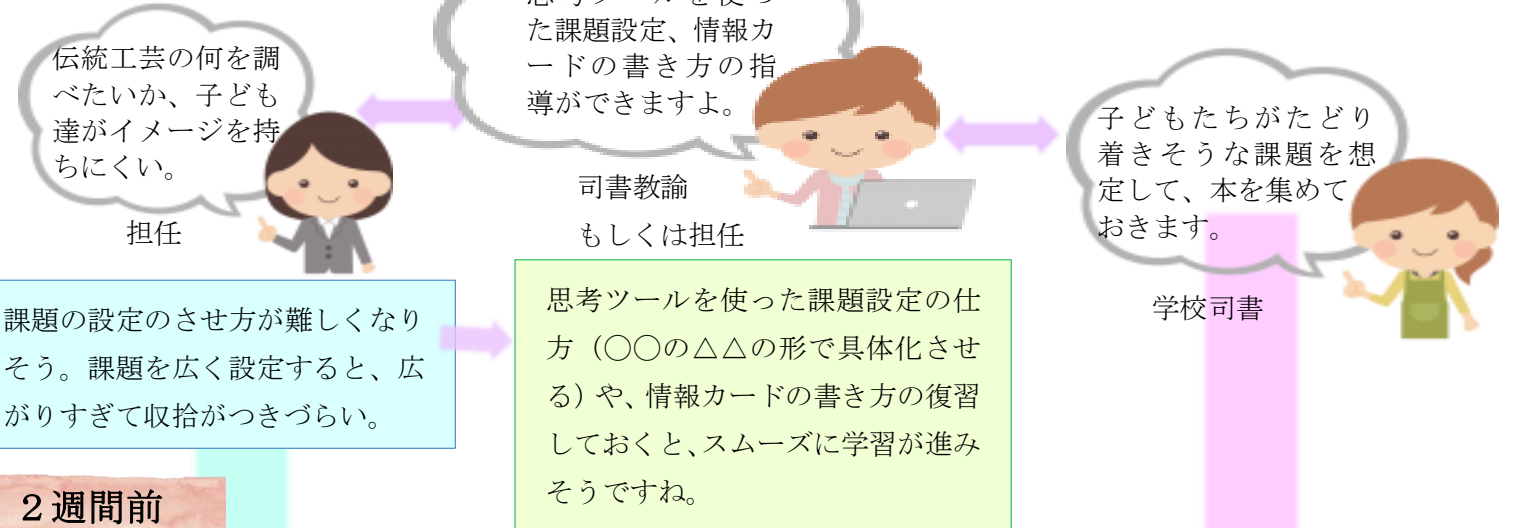


ねらい：自分の考えとそれを支える事例を明確にするために、事例を分類・整理することができる。  
準備物：【児童】情報カード

	主な学習活動	指導、支援 青担任、黄緑担任か司書教諭、ピンク学校司書
導入 3	1. 学習の見通しを持つ。 「昨日まで、自分が調べたい伝統工芸について調べ、情報カードを書いてきました。このたくさんの情報を全部リーフレットにのせられないですね。今日は、情報を整理する方法を勉強しようと思います。」	
展開 8	2. 担任と司書教諭の情報カードを使って分類・整理をしてみる。 ・全く同じものはいっしょにすればいい。 ・同じ題だけど、中身が違うのがあるよ。 ・ちょっと似ているのがあるよ。 ○分類の仕方 (1) 同じものを重ねる。 (2) 似ているもの同士を集めて、グループ分けをする。 (3) 魅力を伝える情報だと思えるものに順番をつけていく。	見本の情報カードには、全く同じもの、グループでまとめられそうなものを用意する。 同じ情報が書かれているカードは、重ねていき、似ている情報カードは、色カードで仲間分けをし、黒板に掲示していく。 分類の仕方が分かるように、キーワード「重ねる」「仲間分け」「赤丸」を黒板に掲示する。
20	3. 2人1組で自分達の情報カードを分類・整理する。 予想される児童の反応 ・どの組もさっとできた場合。 ・全体で確認をし、次時書きたい情報にマーカーを入れる。 ・組で差がある場合。 ・さっとできた組にどうやって分類していったか紹介してもらう。 ・早くできた組は、次時書きたい情報にマーカーを入れていく。	分類の仕方によって、できているかチェックしていく。 全体を見ながら、困っている組がいたら、支援していく。 担任に頼まれた組に入り、分類の仕方によってできているか見守る。
まとめ 5	4. まとめ 今日の勉強で、わかったことを発表する。 ・情報を整理するには、同じものをまとめる。 ・似ているものは、グループにする。 ・より大事な情報に順番をつける。 「たくさんの情報は、分類、整理すると、すっきりする。今日は、同じものをまとめる、似ているものをグループにする、順番をつける方法があることがわかりましたね。」	上手にできているチームにどういう仲間分けをしたか紹介し、全体に広げようにする。

4週間前



2週間前

★思考ツール（ここではペンタゴンシート）を使った課題設定の仕方の練習 【添付資料：スライド】

漠然とした課題で、資料を探そうとすると、難しい。

例  
①「和紙」について調べたい。  
②「和紙の歴史」について調べたい。

②の方が、資料を探しやすい。探す前に、自分が知りたいことを明確にするためにも、課題設定は、大切になる。

★情報カードの書き方の練習  
【添付資料：スライド資料、ワークシート、情報カード様式】

情報カードの書き方のコツ  
①「○○は～か？」という疑問形の形でテーマを作る。  
②テーマの疑問に答える形で、丸写しせずに、短い言葉で、箇条書きでまとめる。  
③1枚のカードには、1つの情報をまとめる。  
(テーマの答えにならない部分を書きたい時には、違うカードに書く)  
④調べて分かったことと感想を分けて書く。  
④参考図書の情報を残す。

ポイント

単元スタートまでに確

事前のスキル指導の様子を見て、単元に入った時に、個別の支援が必要な児童について共通理解を図る。

ワークシート、スライド資料を確認する。

子どもが使いそうな資料を学校図書館、町立図書館から探す。  
【リストあり】

学校司書が集めてきた資料をもとに、学級の子どもの実態に合っている資料かどうか、一緒に確認できる時間を確保できるとベスト。

適切に課題を設定し、情報カードを使って情報を集め、分類整理し、発表につなげられるよう、みんなで支えよう！

# 単元計画

## 単元の目標

- ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ)
- ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。(思・判・表C(1)ウ)
- ・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方を理解することができる。(知・技(2)イ)

	第1次		第2次				第3次
	1	2～5	6～7	8～10	11 (本時案あり)	12～14	14～15
評価規準	【態】 説明する文章を読んで、その書かれ方の工夫を取り入れながらリーフレットを作るという学習の見通しを持つとしている。	【思・判・表】 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係について、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	【知・技】 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。((3)オ)	【思・判・表】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ)	【知・技】 比較や分類の仕方を理解することができる。((2)イ)	【思・判・表】 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にし、書き表し方を工夫することができる。(B(1)ウ)	【態】 友達の作ったリーフレットを読み合いながら、分かりやすく書けているところを伝えることができる。
学習活動	学習の見通しをもつ ①題名やリード文から伝統工芸や和紙についてイメージを広げる。 ①単元全体を見通して説明する文章を読んで、その書かれ方の工夫を取り入れながらリーフレットを作るという学習の流れを捉える。	②～⑤ ・「世界にほこる和紙」を読み、中心となる語や文を見つけて要約する。 ・筆者の伝えたいことは何かを考えながら読み、文章の構成を捉える。 ・まとめごとに中心となる語や文を確かめ、それを用いて文章全体を200以内で要約する。	⑥P56～57の作例やP53の「学習の進め方」を確かめ、伝統工芸についてリーフレットを作る見通しをもつ。 ⑦調べたいものを決め、本を読む。	選んだ伝統工芸について詳しく調べ、分かったことを書きだす。 ⑧⑨⑩目的に応じて本や資料を選んで読み、分かったことを情報カードに書きだす。	⑪書き出した情報カードの中から、同じもの同士分類したり、より魅力を伝えているものはどれか整理したりする。	⑫P56～57の作例を読み、資料の使い方や参考図書の示し方等、リーフレットの書き方の良さを見つける。 ⑬P55の組み立て例とP56～57の作例を結び付けて読み、自分の書く文章の組み立てや資料の使い方を考える。 ⑭考えた組み立てに沿って説明する文章を書く。	⑮完成したリーフレットを読み合い、分かりやすく書けているところを伝え合う。 ⑯学習を振り返る ・「たいせつ」「いかそう」で身に付けたい・力を押さえる。 ・「ふりかえろう」では単元全体の学びを振り返る。 時間外 3年生にリーフレットを見せる。
担任の動き	・島根県・隠岐の伝統工芸を見せ、学習への興味を持たせる。 ・実際のリーフレットを見せ活動への関心を高める。 ・伝統工芸の本を教室に準備する。	指導書に沿って指導	・教師が作った、リーフレットを紹介し、これから作る学習へ見通しを持たせる。 ・調べたい本を見つけるために、難しい文章は読み聞かせしたり、意味をかみ砕いてあげたりなど味見読書をする。	・正確に情報が抜き出すことが難しい児童には、コピーして線を引いてあげたり、読んであげたりするようにする。 ・授業後に、正しく情報が抜き出せているかチェックする。	・教師の情報カードを分類させることにより、分類の仕方を全員で確認できるようにする。	・教科書から良さを見つけたことを教師のリーフレットを	・いろいろな学習において、調べる時、伝えたいことを明確にする時のスキル
司書教諭の動き			・調べたいものを決める際に、必要があれば、課題設定の仕方について担任にアドバイスをする。ペンタゴンシート(思考ツール)を活用し、○○の△△が知りたいと具体的な課題設定ができるようにする。 ・児童が課題設定を終えた時点で、担任と学校司書をつなぐ。	・情報カードの書き方が思い出せるように、掲示物等準備。 ・担任と事前に打ち合わせをしておき、情報を抜き出すことが難しい児童の個別の支援にあたる。	※授業前のところで、三者で児童の書いた情報カードを確認し、児童の思考の流れだどう分類整理しそうかなどについて打ち合わせできる時間を確保する。 ・授業中は、分類・整理が難しいグループについて支援する。		【事後】担任、学校司書に、図書館活用の視点からふりかえってもらい、次回に活かせるように、記録を残す。
学校司書の動き	・伝統工芸に関する本を準備して、リストを作成。担任に、渡す。 ・事前に、リーフレットを集めておき、担任と相談しながらどのリーフレットを学習で使用するか相談する。		・児童が課題設定を終えたら、担任から情報をもらい、実際に児童の立てた課題で、資料から情報を探ることができるか、実際に試してみる。	・担任と事前に打ち合わせをしておき、情報を抜き出すことが難しい児童の個別の支援にあたる。 ・図書館においている情報カードの不足分を確認し、補充しておく。	・分類・整理が難しいグループについて支援する。		・発表会に参加する。 【事後】発表のために準備した資料があれば、回収コピーなどして、成果物を掲示、蓄積できるようにする。